

【ご挨拶】

平素より医療・介護関係者のみなさまにおかれましては、若松在宅医療・介護連携支援センター（以下、当センター）の事業にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

【第1回 若松区医療・介護従事者研修会】

当センター主催で初のオンライン研修会開催！

小さなトラブルはありましたが、何とか配信出来ました。やれば出来るものですね何事も…（今後も頑張ります！！）ZOOM ウェビナーを使った♡開催に、快諾し協力して下さった中村和生先生のご講義は聴き取りやすく、最新の感染状況やワクチンの接種状況を踏まえ、コロナウイルス感染症とはそもそも何？から始まりました。予防はどこに目を向ければよいのか対策は間違っていないか、自身を振り返ることが出来ました。又、ワクチン接種に関しても、mRNA ワクチンとはどのようなものなのかその安全性や副作用等、新型コロナウイルスワクチン接種に不安を抱きながらもその日を待ち望んでいる我々にとって、安心の後押しを頂くことが出来ました。中村先生のお話をお借りすると、ウイルスは、「感染を広めること」と「感染を継続し、宿主に反復してでも留まること」という二つの目的達成のために感染・変異を繰り返し襲ってくることに對して、私たちはワクチンという鎧を身に付けて長期戦を戦わねばなりません。いろいろな情報が錯綜している中、正しく必要な情報を選び取り根拠に基づいた感染対策を行い、日々の小さな不安を安心に変えて支援に取り組める毎日を送りましょう。

★ 講演を YouTube 配信します 期間限定 7月1日（木）～ 7月30日（金）迄

URL <https://youtu.be/mKKvv7WsUok>

もしくは、連携支援センターホームページの研修報告からも YouTube をご覧いただけます。

新型コロナウイルス感染症について

令和3年度 第1回 若松区医療・介護従事者研修会

2021年6月15日（火曜日）

北九州市若松区医師会 新型コロナウイルス感染症対策担当理事
中村医院 中村 和生

【新型コロナウイルスにふりまわされていませんか？】



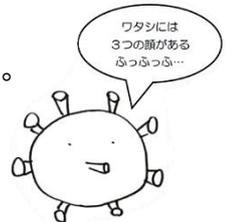
長期間に及ぶ感染対策。でも怖いのは感染そのものだけじゃない。

日本赤十字社から発行された「新型コロナウイルスの三つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」に、目を通された方はご存知かもしれません。

知らず知らずのうちに影響を受けている三つの感染症！（病気そのもの、気付く力や聴く力自分を支える力を弱める不安や恐れ、関わる人や対象を遠ざける嫌悪・偏見・差別）

これらは、安心を得るための心理状態の変化で、少なからず生活に影響を及ぼします。ウイルスに関する悪い情報にばかり目が向き、何かとウイルスに結びつけていませんか？この病気からくる負のスパイラルを断ち切るために、必要なことを見極めて協力し合いそれぞれの立場で出来ることを行っていきましょう。

【引用 新型コロナウイルスの三つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～ 日本赤十字社新型コロナウイルス感染症対策本部】



【とびうめ@きたきゅうの登録状況について】



コロナ禍におきましても変わらぬお声掛けをありがとうございます。6月末までの新規登録者数は、21,691名、そのうち若松区内は3,021名となっており、区内65歳以上の高齢者の11.4%となります。より多くの方に「とびうめ@きたきゅう」への理解が得られ、登録につながりますよう引き続きご協力をお願い致します。